



汐見の和

横浜市立汐見台小学校
令和8年1月26日
学校だより2月号

【学校教育目標】人やものに豊かにかかわり、ともに未来を創る子

電話 045-761-1561 FAX 045-754-6409

ホームページ <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shiomidai/>



子どもたちと共に

副校長 中田 康子

2026年を迎え、間もなく1か月がたとうとしています。冬休み明けの初日はあちらこちらから「今年もよろしくお祈いします。」の元気な挨拶が聞こえてきました。とても気持ちよい1年のスタートがきれたのではないのでしょうか。

学校では、冬休み中に上校庭の工事が終わり、冬休み明けから体育の授業や休み時間に上校庭を利用することができるようになりました。でこぼこしていた校庭もきれいに整地され、とても広く感じます。その新しい校庭で元気に走り回る子どもたちの姿を見ると、上校庭の完成を待ちわびていた様子が伝わります。工事に際しましては、保護者の皆様をはじめ、地域の皆様に多大なご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。子どもたちと共に新しい校舎・プール・校庭を大切に使っていきます。

上校庭の完成に伴い、造形砂場の横に桜の木が植えられました。「シドモア桜」です。新校舎の完成と2027年に横浜市で開催される GREEN×EXPO2027（国際園芸博覧会）を記念してシドモア桜の会のご協力のもと、汐見台小学校に植樹されました。世界平和の願いが込められています。まだまだ小さな苗木ですが、汐見台小学校の子どもたちと共に、健やかに成長していくことができるよう見守っていききたいと思います。本校にお立ち寄りの際には、ぜひ、ご覧ください。



シドモア桜

ポトマック河畔からの里帰り

1912年、日本からワシントンへ桜の苗木3千本が贈られました。その桜はポトマック河畔一帯に植えられ、日米友好のシンボルとして親しまれています。今では世界的な桜の名所となり、全米桜祭りが毎年開催されています。桜の植樹にあたり、大きく貢献したのが紀行作家であり、『日本・人力車旅情』の著者であるアメリカ人女性エリザ・R・シドモアです。

シドモアは今、横浜の山手外国人墓地に兄と母と共に眠っています。そのポトマック河畔の桜が、1991年に里帰りし、シドモア桜の会によって、シドモア家墓前に植えられました。そしてシドモアと桜のエピソードを伝えるため、その桜から接ぎ木により、さらに苗木が作られました。ここに植えられた桜は、その苗木から育った桜（ソメイヨシノ）です。

(樹名板より)